

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 男子準決勝

試合期日：2018 年 5 月 19 日(土)

CC：田上 敬一

試合時間：15：00～

U1：松田 茂治

U2：上山 正智

東海大学九州	○ 78	27	—1st—	15	● 76	九州共立大学
		17	—2nd—	11		
		15	—3rd—	29		
		11	—4th—	15		
		8	—O.T—	6		

第1ピリオド

両チームともハーフコートマンツーマンからスタートする。開始早々、九共大は#11久保田のジャンプシュート、#33小田のレイアップ、#18GOMAAのゴール下でリズムよく得点を決める。東海大は激しいディフェンスから九共大のターンオーバーを誘い、#11趙のレイアップ#13久保のバスケットカウントなどで流れを掴み、点差を広げる。九共大も果敢に攻め応戦するが27-15の東海大リードで第1ピリオドを終了する。

第2ピリオド

東海大#11趙の技ありのターンシュートで始まる。東海大は#13久保のレイアップ、#14権藤の3Pシュートなど、インサイド、アウトサイドの両面から得点を重ね、点差を広げていく。対する九共大は果敢に攻めるも、なかなか得点が決まらず、残り6分7秒で前半2回目のタイムアウトを使う。タイムアウト後、九共大は#21岡のジャンプシュートで第2ピリオド初の得点を決める。終盤、九共大#18GOMAAのミドルシュートやポストプレーなどの連続得点で対抗するも44-26の東海大リードで前半を終える。

第3ピリオド

後半、両チームともハーフコートマンツーマンで始まる。序盤、九共大は激しいディフェンスから#18GOMAAのミドルシュート、#11久保田の連続3Pシュートなどで流れを掴み、東海大は残り6分57秒たまずタイムアウト。タイムアウト明け後も、流れは変わらず、九共大#14田川のスリーポイント、#33小田のゴール下など着実に得点を決めていき、最大3点差まで追いつく。対する東海大は#21松井の3Pシュート、#6石井のミドルシュート、#9清辻のバスケットカウントなどで応戦し、逆転を許さない。59-55の東海大4点差リードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド

最終ピリオドは九共大ボールからスタートし、開始早々#11久保田がバスケットカウントを決める。そして、九共大#18GOMAAのゴール下でついに逆転する。逆転後、九共大は#14田川のゴール下、#11久保田のレイアップで得点、対する東海大も#11趙のレイアップ、#14権藤の3Pシュートで応戦、そして、#11趙のレイアップで同点に追いつき、残り2分9秒、九共大のタイムアウト。その後も一進一退の攻防を繰り広げていき、残り時間わずか、九共大#18GOMAAのゴール下はわずかに外れ70-70で延長戦に突入する。

○. T

東海ボールからスタート。九共大は# 3 3小田のミドルシュートで得点。対する東海大も# 1 1趙のバスケットカウントで応戦する。ここで九共大は# 1 1久保田の連続得点で点差を広げる。しかし、東海大も# 1 4権藤の3Pシュートで同点に追いつく。延長戦も一進一退の攻防が続くが、東海大は# 1 1趙のターンシュートで2点リードする。そして、残り時間わずか、九共大# 1 1久保田の最後のシュートが外れ、78-76で東海大が勝利を収めた。